

5. 暴露量調査対象物質の分析法概要

物質名	分析法フローチャート	備考
[2]アニリン	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A["水質試料 500mL 水酸化ナトリウム 1g添加"] -- "クリーンアップ剤添加 アニリン-d5 500ng" --> B["遠心分離 3,000回転で5分間"] B --> C["固相抽出 Sep-Pak plus PS2 15mL/分"] C --> D["脱水 シリンジで10mL通気"] D --> E["溶出 酢酸メタノール4mL"] E --> F["濃縮 窒素ガス気流下 約1mLまで"] F -- "シリンジ剤添加 ナフタリン-d8 500ng" --> G["脱水 無水硫酸ナトリウム"] G --> H["GC/MS-SIM"] </pre> <p>「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」、 「昭和57年度化学物質分析法開発調査報告書」及び 「平成元年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM</p> <p>検出下限値： 【水質】(ng/L) [2] 40</p> <p>分析条件： 機器 GC：QP-2010 MS：QP-2010 カラム DB-5ms 30m×0.25mm, 0.25µm</p>